mudef news vol.53

一般財団法人mudef General Incorporated Foundation mudef <u>www.mudef.net</u>

mudef newsは、国連ミレニアム開発目標(MDGs)を軸に、音楽とARTを通じた、よりよい世界づくりを目指す、一般財団法人mudefの「今」をお伝えするニュースレターです。 *mudef news* is a monthly report on mudef's current activities, which aim to change the world in a better way through music and art.



2015年12月26日発行編集:事務局石本マリコ



CONTENTS

児童福祉施設にクリスマスの贈り物 【HAPPY BATTON PROJECT】 -P2

「MISIA × YOKOHAMAフォトコンテスト」開催 −P3

応
石川「MISIAの森」のロゴを一新【MISIAの森】 -P3

mudef information −P4

☆ 今後の活動について -P4

mudef news vol.53



児童福施設にクリスマスの贈り物

≪HAPPY BATTON PROJECT≫

今年9月に山梨県の河口湖ステラシアターで開催された「Misia Candle Night」。その会場で実施したチャリティーバー「Candle Night Bar」の売上金を、11月にmudefに寄付して頂きました。mudefでは、「子どもたちの支援」というチャリティーバーの目的に沿って、頂いた寄付金で横浜市

の3つの児童福祉施設へクリスマスの贈り物を計画しました。

★☆クリスマスプレゼント☆★

横浜市児童相談所と市立の児童養護施設「三春学園」には、それぞれクリスマスのプレゼントを贈りました!児童相談所(市内4か所)の一時保護所には、一時的に施設で生活する子どもたちのために、人形やDVDなど、たくさんのおもちゃとキーボードを届けました。

三春学園には、希望を伺ってワイヤレスのマイクアンプをプレゼント。さっそく「年末のお楽しみ会に使いました」というお手紙を頂きました。









★☆馬との触れ合いイベント☆★

もう1か所、市立の児童自立支援施設「向陽学園」では今月22日、EFP(Equine Facilitated Project)にご協力頂き、馬との触れ合いを楽しむイベントを実施しました。向陽学園は、学校や家庭にうまくなじめない子どもたちが、園で暮らしながら勉強や日常生活など自立に必要な様々ことを学ぶ施設です。

当日は、快晴のイベント日和。EFPのご厚意で、当初3頭の予定だった馬を4頭連れてきて頂きました。馬を間近で見ることがほとんど初めての子どもたちは大興奮!早速、エサのニンジンをやったり、一緒に走り回ったりしていました。

続いては乗馬体験!子どもたちも初めは緊張した様子でしたが、EFPのボランティアの方々に教えてもらいながら徐々に馬に乗るためのコツをつかみ、最後には馬の上でポーズ!怖がっていた子どももいましたが…全員が乗馬を体験することができました。

最後は4頭の馬をひいてのレース。馬が走ってくれなかったり、逆に引っ張られたりと、振り回されながらも一生懸命にレースを完走。こちらも楽しい時間となりました。

子どもたちからも「また乗りたい」といった声をもらい、園の先生たちにも「とてもいい経験をさせてもらった」と喜んで頂くことができました。



ここにいる子どもたちは、様々な背景を抱えながら園で暮らしていて、普段ほとんど園の外に出ることはありません。そんな子どもたちにとって、今回のイベントがクリスマスの素敵な思い出になってくれたらいいと願っています。

ご協力頂いたEFPのみなさん、本当にありがとうございました。 今回の「HAPPY BATTON PROJECT」のクリスマス企画の詳細はmudefのHPで紹介しています。

http://mudef.net/hbp/report/000847.html



子どもたちが安心して暮らし、未来への夢を持つことができる社会は、私たちが暮らす社会が成熟し、すべての人が、等しく安心して暮らすことができる社会でもあります。mudefでは、特に支援を必要とする子どもたちを対象にアニマルセラピー(動物と触れあい、心を癒す)を含めた様々なプログラムを実施。神奈川県横浜市を中心に活動しています。

HAPPY BATTON (http://mudef.net/hbp/)





「MISIA×YOKOHAMAフォトコンテスト」開催中

≪MISIAの森プロジェクト≫

横浜市栄区で今年9月から始まった「MISIA×YOKOHAMAフォトコンテスト」。区内の豊かな自然を多くの人に発信していくことを目的に、来年2月21日まで開催しています。

MISIAも審査員として参加。ぜひ栄区の森に出かけて、自然や生き物の様々な表情にカメラを通して触れてみて下さい!ご応募お待ちしています。詳細は栄区のHPをご覧ください。

http://www.city.yokohama.lg.jp/sakae/guide/kusei/moripro/

今回のコンテストに関連して、10月、11月に、カメラマンの田中雅也さんと、アートディレクターの信藤三雄さんを講師に招き、横浜自然観察の森で写真教室を開催しました。貴重な機会に、どちらも授業は大盛況!田中さん、信藤さん、ご協力本当にありがとうございました

石川「MISIAの森」のロゴを一新

≪MISIAの森≫

2011年から始まった石川県津幡町の石川県森林公園内にある「MISIAの森」。今年で5年目を迎え、ロゴを一新しました!デザインは京都在住のデザイナー、徳力あすかさん。

mudefの活動に共感し、快く引き受けて下さいました。今後イベントなどで登場する予定です♪





◇とくりきあすか (グラフィックデザイナー/asugatic代表) http://www.asugatic.com/

「mudefさんのいろいろな活動を拝見し、 生物多様性のことなど考えながら、 1人1人のハートや想いが集まって、 繋がって、そこからまた 何か新しいものが生まれたり、 守ることができたり、 MISIAの森が多くの人にとって そんな場所でありますように… との願いを込めています」

mudefでは、2011年から石川県森林公園(石川県河北郡津幡町)で森の保全活動を通じて生物 多様性の保全の重要性を訴える、「MISIAの森」を実施しています。

同プロジェクトでは石川県、津幡町の全面的な協力を受けて森の保全活動を行う他、子どもたちが住む来の地球への希望を込めて、子どもたち自身が未来を考えていくきっかけとなるような「豊かな森」作りを、アートを通じて行います。

MISIAの森は、当初、来年の3月までの5年間の予定でしたが、来年度以降も継続することになりました!これまで通り、石川県の里山里海の魅力や、生物多様性の大切さを、イベントなどを通して発信していきます。

(http://satoyamabasket.net/forest/)

フォトコンテストご応募ありがとうございました

この夏開催した写真コンテスト「MISIAの里山ミュージアム」。最終的に約180枚の応募を頂きました!とても素敵な写真ばかりで、改めて、石川県の里山里海の魅力、そして自然の尊さをみなさんに感じて頂けたのではないでしょうか。たくさんのご応募、本当にありがとうございました。



mudef news vol.53

JALのタンチョウフォトコンテスト開催!

≪JAL×MISIA≫

JALの「タンチョウヅルのフォトコンテスト」がこの冬、再び開催されます。JALの機体に描かれるシンボル、そして日本美の象徴でもある「タンチョウ」を通して、生物多様性の重要性

を多くの人に知ってもらいたいと始まったこのコンテスト。3回目となる今回もMISIAが特別審査員を務めます。応募は2016年3月23日まで。たくさんのご応募お待ちしています!詳しくはJALのHPをご覧ください。

http://www.jal.com/ja/environment/happyeco/tancho2015.html

♦ MISIA message ♦ ♦

「毎回、ご応募いただくタンチョウの美しい写真を見ることを楽しみにしています。

この姿をずっと見ることのできる世界であってほしい。そう望むことは同時に、命を育む自然や生命の繋がりを、大切にしたいと望むことでもあります。

このコンテストが、そんな思いをたくさんの方と共有できる機会になることを願っています」



mudef information

【MEDIA掲載情報】

▼ソトコト2月号(1月5日発売) MISIAあふれ出る想い「くぬぎの森を歩いて」

┃1月5日発売のソトコトでは、MISIAが埼玉県にある産業廃棄物処理業者の「石坂産業」を訪問。

石坂産業は、敷地内に森を持ち、リサイクルなどを通して環境に配慮した取り組みを積極的に行っています。その会社を経営する社長の石坂典子さんとMISIAが、里山里海、そして生物多様性の大切さについてじっくりと語り合います。ぜひご購読ください。

mudefのHPや特設サイト、facebookなども随時更新中!こちらもぜひご覧ください!

http://www.mudef.net/

https://www.facebook.com/foundationmudef

今後のmudefの活動について

mudefは、設立以来活動の軸としていた「ミレニアム開発目標(MDGs)」が今年で終了するに伴って、この機会に事業の見直しを行い、年内で「Love is Free Campaign」などのプロジェクトを終えることになりました。これまでプロジェクトの主旨に賛同し、ご協力頂いた皆さま、本当にありがとうございました。

ただ、mudefではこれからも、厳しい環境の中で生きる子どもたち、弱い立場の人たちに寄り沿って、世界規模の問題の解決に向け、音楽とアートの力を活かした支援を継続していきます。

今年も1年、皆さまの温かいご支援、本当にありがとうございました。どうぞよいお年をお迎えください。 そして2016年も、mudefをよろしくお願い致します。

事務局:石本マリコ

We are mudef

mudefは、音楽(music)とデザイン(design)を組み合わせたコトバ。

地球には、解決しなくてはならないコトがたくさんあります。様々な問題に取り組むためには、国境を超えて人びとが協力し合うことが大切。

そのために生まれたのが、mudef(ミューデフ)。

「地球と人類が直面する宿題解決をちょっぴりでもお手伝いしたい。国境も言語も人種も超えるチカラを持つ音楽とデザインの特技を活かして!」そう考えるアーティストの集まりです。

We have so many issues to solve. To solve the problems, it is crucial that people cooperate with each other beyond borders. We, mudef, was established for that purpose. The term mudef is a combination of the words music and design.

We want to contribute to solving the issues the Earth and human beings are facing, even if only slightly, through exploiting the special power of music and design that goes beyond borders, languages and races. mudef is a group of artists who share that principle.

一般財団法人mudef事務局 Secretariat of mudef TEL: +81.3.5414.7778 info@mudef.net



mudef news vol.53